

「浜松新城リレー号」実証運行の結果について

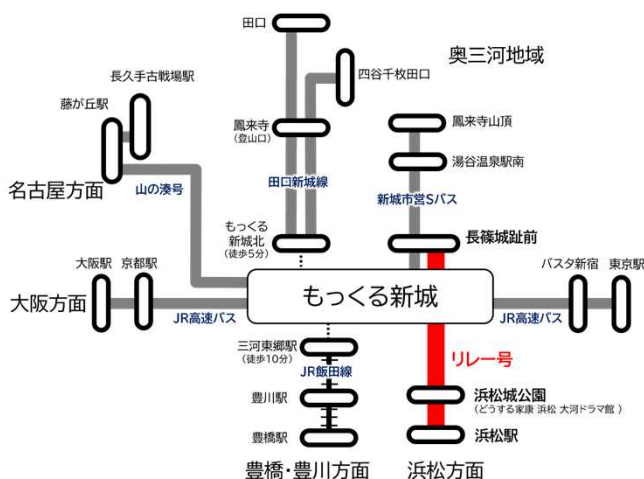
国土交通省中部運輸局観光部では、名古屋市及び浜松市からの誘客や、東京・大阪間を結ぶジェイアール高速バスからの誘客をターゲットに、各バス路線の乗り継ぎ利便性について検討するとともに、浜松市からの移動需要把握とその効果検証を行うため、本年1月～2月の週末限定で「浜松新城リレー号」の実証運行を行いました。

運行日：2023年1月28日(土),29日(日),2月4日(土),5日(日),11日(祝),12日(日),18日(土)

ダイヤ：遠鉄バス、豊鉄バスによる1日8便、計7日間の運行

系統・起終点：浜松駅（浜松城公園、もっくる新城正面 経由）長篠城址前。

運賃：浜松と新城間の運賃は大人1,000円。その他、最大7日間乗り放題となるお得なWEBチケットを大人1,200円で販売。（「EMot」および「CentX」にて販売）



もっくる新城に停車中の浜松新城リレー号

《期間中の利用実績について》

- 期間全体の乗客数は304人（大人155+144人、小人3+2人）、**1便当たりの乗客数は平均5.4人**（大人5.3、小人0.1）でした。居住地別利用者では**静岡県内居住者が最も多く約4割弱**を占めました。
- 浜松新城リレー号からの**乗り継ぎ利用は「山の湊号」（新城名古屋藤が丘線）が最も多く、利用者全体の約3割**を占めました。
- 現金支払、WEBチケットの内訳では、**WEBチケットが乗客数全体の82%**を占めました。1枚あたりの平均利用回数は3.2回で、往復以上の利用や日を跨いだ利用もありました。
- 個別の利用状況について、浜松市内からは、中学生グループが長篠城まで観光に出かけたり、市街地から水窪（浜松市北部）までJR飯田線長篠城駅で乗り継ぎ利用された方もいらっしゃいました。名古屋・長久手方面からは「山の湊号」から乗り継いで浜松大河ドラマ館に向かう観光利用も多く、もっくる新城での乗り継ぎ利用では、最寄り駅のJR飯田線三河東郷駅や、周辺にお住まいの方では自家用自動車からの乗り継ぎも見られました。

《詳しくは中部運輸局ホームページまで》

<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kankou/chiiki/ukeire.html#hub>